

I 調査の概要

(1) 調査の目的

近畿大学の学生の人権に関する意識を把握し、人権意識の更なる向上を達成するために、より効果的な教育活動・啓発活動・研究活動等の推進を図るための基礎資料をうる

(2) 調査対象

2009年度後期において開講されている講座「人権と社会1」及び「人権と社会2」の本部キャンパス所在の法学部、経済学部、経営学部、薬学部、理工学部、文芸学部の各学部における受講生。

(3) 標本抽出

各学部における標本数が可能な限り均等になるように配意し、各学部より当該講座1クラス以上を抽出し、そのクラスの受講生全員を標本とする有意抽出法によって標本を抽出した。

(4) 調査方法・調査期間

2009年9月の第1回講義において一斉に配布・実施・回収した集合調査である

(5) 回収状況

学部別の回収結果は次の通り。

法学部：147名、経済学部：137名、経営学部：167名、文芸学部：131名
理工学部：201名、薬学部：134名 合計 917名

(6) 調査の体制

近畿大学人権問題研究所内に「2009年度近畿大学学生の人権意識調査チーム」を設置。

責任者：奥田均（同研究所教授）、熊本理抄（同研究所専任講師）、中村水名子（本学非常勤講師）

II 回答者の構成

(1) 所属学部

	%	回答者数
総 数	100.00	917
法 学 部	16.03	147
経 済 学 部	14.94	137
経 営 学 部	18.21	167
文 芸 学 部	14.29	131
理 工 学 部	21.92	201
薬 学 部	14.61	134

(2) 性別

男：612名（66.7%） 女：302名（33.0%） 無回答 3（0.3%）